

財務省・文部科学省

小学校35人学級で“合意”

なぜ小学校だけ？ 中学・高校は？ 5年もかけて？
今の小学校2年生以上には適用されない！

新聞報道によれば、財務省と文科省との間で、来年度政府予算に盛り込むための少人数学級の計画が「合意」されたとのこと。

＊具体的には、

- ・1クラスの子どもの数の上限を35人とする（現在は、小学校1年のみ35人、それ以上は40人）
- ・そのために、通常国会において「義務標準法」を改正する
- ・2021年度～2025年度の5年間で段階的に実施する

2021年度	小2まで
2022年度	小3まで
2023年度	小4まで
2024年度	小5まで
2025年度	小6まで



- ・クラスの人数を減らすことによって必要となる教員の増加分については、2021年度は、習熟度別学習やチームティーチングなどのための追加措置の分を割り振ることによって措置する

全日本教職員組合（全教）・教組共闘連絡会・子ども全国センター

標準法改正は貴重な前進！

でも……

*法律を改正して少人数学級に踏み出すと決めたことは、とても重要な前進です。1980年から12年間かけて40人学級が実施されて以来、何と40年ぶりです。

*でも、次のように、たくさんの問題点があります。

- ・来年から5年間かけての実施では、今の小学校2年生以上は、対象にならないこと
- ・中学・高校には、全く適用されないこと
- ・5年間もかかること
- ・国民の声は「30人学級」や「20人程度の学級」なのに、35人学級であること

*また、来年度についていえば、小学校2年生については、今でも追加措置の分を使って35人学級を実施することが可能となっているので、来年度予算は増額されるどころか、子どもの数の減少による教職員定数の減少のため、今年度予算よりも少ない金額となっています。

めざせ20人学級！ 少人数学級を止めないで！

*子どもたちに「少人数学級をプレゼント」というには、あまりにも不十分です。コロナ感染から子どもたちを守り、誰もが安心して生き生きと過ごせる学校にするために、「めざせ20人学級」「少人数学級への歩みを止めないで！」の声を大きくひろげていきましょう。